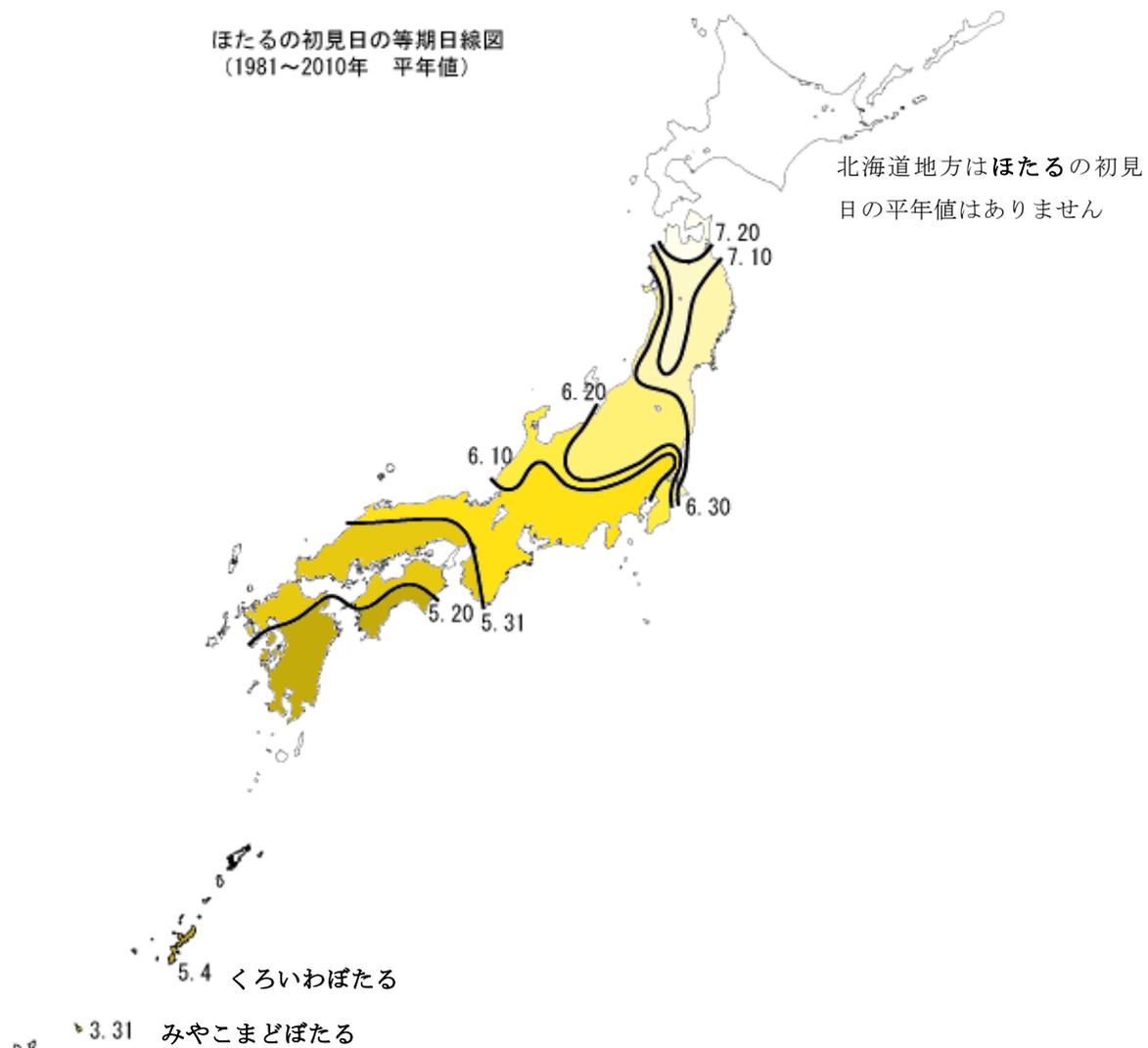


## ほたるの初見日



ほたるの初見日とは、げんじぼたるかへいけぼたるのいずれかの成虫が、発光しながら飛んでいるのを初めてみた日をいいます。げんじぼたるは、本州・四国・九州に分布し、その幼虫は清流中に生息して、かわにな（巻き貝の一種）などを食して成長するといわれています。へいけぼたるは、ほぼ全国に分布し、その幼虫は小川のほか水田や池などにも生息し、かわにななどを食して成長するといわれています。

ほたるの初見日の等期日線図  
(1981～2010年 平年値)



ほたるの初見は、3月下旬から沖縄地方で始まります。5月20日に九州地方中部、四国地方南部、5月31日に九州地方北部、中国地方南部、四国地方北部から近畿地方の一部に達します。6月10日に中国地方北部、近畿地方から東海地方、関東地方南部を結ぶ地域に達します。6月20日に北陸地方、その後、7月下旬まで東北地方を北上します。北海道地方はほたるの初見日の平年値はありません。